

ライフサポートひなた 佐藤 志織 (介護福祉士 / 入所)

功 績 クラスタ発生時、感染委員として使命感を人一倍持ち、いつ感染するか分からない状況の中でも自らが率先して感染対策に取組み、他職種にも自らが発信し早期に対策できるよう仕組みづくりに貢献した功績。

推 薦 者 合津真由美 (看護師長 / 入所部門)

推 薦 理 由 クラスタ発生時に次々とスタッフが陽性となる中で、感染委員として絶対感染しないという使命感を持ちながら、対策に率先して取組んだ。

PPEの取扱いも他職種に繰り返しレクチャーし、出来ていないことに対し自らが繰り返し一人ひとりに声掛け指導し、少ない人員になっても収束まで継続して続けた。氏の頑張り・行動は、他のスタッフへの影響も大きく、精神面で励みとなっていました。よって、理事長賞に推薦します。

内 容

令和4年6月中旬にご利用者1名の発熱があり検査を実施したところ、その時点で十数名の陽性が確認され、クラスタ発生となる。

次々にスタッフも陽性となり、人員不足の状況となった。

初めてのクラスタ経験に職員は不安になる中、氏は感染委員とし「何かからすればいいですか!」と自らが直ぐに行動し、ゾーニングを看護師の指示のもとスピーディーに行い、感染対策物品の配置場所、ご利用者の担当分担を早期に決めて発信し、出来るだけご利用者の生活を守れるよう行動していた。

他職種と早期に連携し、看護師の業務も軽減できるよう、PPEの取扱いが出来ていないスタッフに対し、率先して一人ひとり声掛けと指導を収束まで継続して毎日おこなった。

次の波が来た時、スタッフが早期に対策でき被害が最小限に抑えられるよう、

収束後も氏を中心に振り返りと準備・備えを継続して行っている。